

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日：2022年9月30日

所属学部／研究科・学科／専攻	文学部 文学科 日本文学専攻
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文： カリフォルニア大学 バークレー校 現地言語： University of California, Berkeley
留学期間	2022年5月～2022年8月
留学した時の学年	3年生（渡航した時の学年）
留学先での学年	3年生（留学先大学で在籍した学年）
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2022年9月1日
明治大学卒業予定年	2024年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期：8月～12月 2学期：1月～5月 3学期：5月～8月 4学期： (記入例/1学期：4月上旬～7月下旬, 2学期：9月中旬～2月上旬)
学生数	45,000人
創立年	1868年 3月23日

留学費用項目	現地通貨 (USD)	円	備考
授業料	\$6,213	70,200円	Tuition Fee: \$7,923 Refund: -\$1,710
宿舍費	\$5,030	638,651円	International House
食費	\$780	177,700円	
図書費	\$100	13,500円	Introduction to Finance Financial Accounting
学用品費	\$0	0円	
携帯・インターネット費	\$50	16,600円	HanaCell
現地交通費	\$160	59,700円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	\$2750	397,800円	
被服費	\$0	0円	
医療費	\$30	4,000円	Dental Clinic: 4,000円 = \$30
保険費	\$365	46,000円	形態：明治大学指定の海外旅行保険 Insurance Fee:45,945円 Service Fee:110円
渡航旅費	\$1,800	233,860円	JAL
ビザ申請費	\$560	73,100円	
雑費	\$300	40,700円	
その他	\$2,870	402,100円	Chicago New York
その他	\$23	5,900円	
合計	\$20,000	2,730,000円	四捨五入して計算しています。後半はアメリカを父と旅行したので、その金額も全て含めました。(約70万円) 円安とインフレが激しく、大打撃でした。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：HND 目的地：SFO 経由地：nonstop flight

復路 出発地：SFO 目的地：NRT 経由地：nonstop flight

渡航費用

①往復チケットを購入した場合

航空会社：JAL

料金：233,860 円

②片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社： 料金：

復路 航空会社： 料金： ∴合計：

航空券購入方法

旅行代理店（店名： ） インターネット（サイト名：JAL） その他（ ）

滞在形態関連

1) 種類（留学中の滞在先）（例：アパート、大学の宿舎など）

学生寮（寮の名前：International House） アパート ホームステイ

2) 部屋の形態

個室 相部屋（同居人数1人）

3) 共有部分

バス トイレ キッチン（自炊可 自炊不可）

4) 住居を探した方法：

留学報告書

5) 感想：（滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス）

【滞在先の感想】

充実した留学で、色々な経験ができました。後悔はありません。International House は、バークレーのサマープログラムに応募する人にとって最もスタンダードな選択肢です。他の寮を選択する人はまずいません。国籍、施設、立地、食事、充実したプログラムなど、他の寮と比較しても平均点が高いと感じました。

【留学する人のためのアドバイス】

注意点としては、日本人がとても多いことです。明治大学からだけでも、30人近くもいます。「完全に英語に浸かった生活がしたい」「英語を話せるようになりたい」と思っている人は、覚悟が必要です。「日本人とも英語で会話する」「日本人が1人のコミュニティに大胆不敵に入る」という覚悟で、意識して外国人と一緒にいることが大切です。

日本人に限らずですが、中国人も、韓国人も、フランス人も、自国の人たちだけと、自国の言語だけで会話し、内輪だけでグループを作り、外国人が入りにくい雰囲気を出しているといった場面が散見されました。自国の言語は確かに楽ですし、気持ちが良いかもしれませんが、留学という期間、アメリカという場所において、それは歓迎すべきことではないなと思いました。なので、そういったことに違和感を覚える人は事前に英会話を習得しておくか、周りの目を気にせずにガンガン話しかけるといった、計画性と積極性が留学の充実度を左右すると思います。

私は日本で事前に英会話を習得していたので、「英語を話さなきゃ」という焦りに追われることがなく、またやりたいと思ったことを英語が理由でためらうことがなかったので、私にとってこの夏は人生の中で最も楽しい夏でした。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例：現地の病院、学内の診療所)

- なし
 あり (治療を受けた場所：)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例：留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

- なし
 あり (問題の内容や相談した人等：)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？

【情報収集】

- ① 在留届：在留届を提出すると、領事館から定期的にその地域の危険情報に関する最新の情報がメールに届く。
② UC Berkeley：UC Berkeley からキャンパス周辺の危険情報に関する最新の情報がメールに届く。

【防犯対策】

- ① 貴重品：貴重品は肌身離さず持つ。日本のスタバのように、パソコンを置いてトイレに行くのは絶対にダメ。
② 夜：夜は周りを警戒する。日本の感覚で夜に外出することは危険。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例：寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

SIM: HanaCell (\$29)

Wi-Fi: International House(\$0), UC Berkeley(\$0)

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？(例：現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

- ① デビットカード 【VISA】三井住友銀行 (円：普通預金)
② クレジットカード 【American Express】
③ 現金 (Dropした授業の返金として UC Berkeley から受け取った小切手を Wells Fargo で換金：\$1,710)

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

電卓

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例：渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

【支払方法】

現金：三井住友銀行の窓口で、Flywire を使って、銀行送金で支払った

【支払時期】

2022年2月10日



学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
10 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 () ・履修の制限はありましたか？	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
Introduction to Finance	金融
科目設置学部・研究科	Haas School of Business
履修期間	05/23/2022 - 06/30/2022
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	LEC: MTTh DIS: WF（チュートリアル，講義形式等）
授業時間数	1 週間に 150 分が 5 回
担当教授	John Gonzales
授業内容	【授業内容】 金融の基礎を学習する。具体的には、金融の専門用語の定義・割引現在価値・債券価値評価・リスク分析（リスク選好、効率的フロンティア）・株式価値評価・DCF・FCF・CAPM・資本運転（Working Capital）・WACC の計算を学習する。計算して導き出した定義と理論を通して、現実世界で起きていることを理解する。 【注意点】 基礎知識は必須。前提知識があると有利。金融の知識、英語力は両方とも必要だと感じた。授業のスピードが速く、常に教授が話していることを理解し、納得する必要がある。ただ、教授の説明が上手だったので、本当に困ることはなかった。勿論、教授に質問をしたら、分かりやすく教えてくれる。
試験・課題など	【課題】 課題は多い。教科書の練習問題を解く課題が、週に 1 回。その週で学習したことを土曜日、日曜日に渡って復習する問題で、その問題を Excel を使って計算し、月曜日の授業で教授に提出する。 【試験】 試験は難しい。 中間試験：記述式の問題 →金融の専門用語の定義を説明する問題・割引現在価値・債券価値評価・リスク分析の計算問題 期末試験：記述式の問題 →中間試験の範囲 株式価値評価・DCF・FCF・CAPM・資本運転（Working Capital）・WACC の計算問題
感想を自由記入	私は文学部ですが、金融が好きで、基礎知識は持っていました。この授業は教授も生徒も質が高かったので、刺激が多くて面白かったです。ただ、この授業は英語で数学をやると言っても過言ではありません。日本人は私だけで、日本人に頼ることもできませんでした。疑問点は教授に質問するか、ググって調べました。数学が苦手だと苦労すると思います。電卓と Excel は必須です。 成績は 80 点以上を取って単位を取得しましたが、試験は簡単ではありませんでした。しかし、真面目にコツコツと復習をする人にとっては拍子抜けの難易度かもしれません。優秀な人たちに囲まれて、アメリカのリアルかつアカデミックな金融に触れるので、金融の知識に自信がある人にとってもこの授業は刺激になると思います。

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
Financial Accounting		会計	
科目設置学部・研究科	Haas School of Business		
履修期間	05/23/2022 - 06/30/2022		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	LEC:TuTh DIS: MW（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に150分が4回		
担当教授	Tiffany Rasmussen		
授業内容	<p>【授業内容】 仕訳、財務諸表（決算書）の作成、分析を行う。</p> <p>【注意点】 授業の難易度は日商簿記2級以上。</p>		
試験・課題など	<p>【課題】 課題は多い。しかし、実際の投資に役に立つ知識を身につけることができる。教科書の練習問題を解く課題が、週に3回。米国企業の財務諸表を分析し、計算する。</p> <p>【試験】 試験は難しい。 中間試験：仕訳、計算問題、財務諸表の作成（簿記2級レベル） 期末試験：仕訳、計算問題、財務諸表の作成（簿記2級レベル）</p>		
感想を自由記入	<p>私は日本で日商簿記2級を取っていたので、この授業は理解が容易でしたが、簿記3級では難しく感じるかもしれません。しかし、教授は熱心で、誠実なので、前提知識がなくとも、受講生の熱意次第では充実した学びとなるかと思えます。また、現地の受講生は前提知識を持っていない場合もあるので（前提知識を持っているのは受講生の約50%）会計の初心者だからといってこの科目の履修をためらわないで欲しいと思います。</p> <p>PwC、DeloitteなどBig4から来たゲストスピーカーの方々が仕事内容、キャリア、学生生活の過ごし方について話されていました。この授業は非常にやりがいのある、実践的なワークが多かったです。</p>		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
Behavioral Finance		行動ファイナンス	
科目設置学部・研究科	Haas School of Business		
履修期間	07/06/2022/ - 08/11/2022		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	LEC: MWTh（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に150分が3回		
担当教授	Konstantin Magin		
授業内容	<p>【授業内容】 行動ファイナンスを、数式で理解する。</p> <p>【注意点】 難しい。</p>		
試験・課題など	この授業は履修を削除しました。		
感想を自由記入	この授業は履修を削除しました。数学というよりも、物理でした。数式が何よりも好きな人にとっては最高の授業だと思います。		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
Investments	投資
科目設置学部・研究科	Haas School of Business
履修期間	07/05/2022 - 08/11/2022
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	LEC: MTuW DIS: Th（チュートリアル，講義形式等）
授業時間数	1週間に150分が4回
担当教授	Ethan Namvar
授業内容	<p>【授業内容】 投資を学習する。</p> <p>【注意点】 難しい。金融の基礎を理解している必要がある。金融の基礎とは、</p>
試験・課題など	<p>【課題】 教授は毎回課題を設定しているが、提出の義務はなく、自由である。ただし、課題の範囲はテストで問題として出るので、自己責任である。 Final Project 2人で協力して投資に関するレポートを作成する。大変。</p> <p>【試験】 中間試験：投資に関する専門用語の語彙テスト。 期末試験：課題の範囲、</p>
感想を自由記入	<p>株式投資をアカデミックにかつ体系的に学びます。資産運用に興味がある人なら、楽しく授業が受けられると思います。投資に関する専門用語は、何となく聞いたことはあるが、その違いが説明できないということが多いと思います。</p> <p>「PERとPBRの違いとは？」「ROEとROAって何？」「指値と成行の違いとは？」が解決でき、実際の投資で役に立つ知識と使い方を学べます。やりがいがありますが、その分とても大変です。しかし、資産運用のレベルを上げたいという人にとって、これ以上ないほど面白く、実践的な内容です。注意点としては、金融の基礎（割引現在価値・債券価値評価・株主価値評価・DCF・FCF・WACC）が計算問題として頻出するので、金融の授業全般に言えることですが、計算中心の、計算が相当に多い授業であると認識しなければならないということです。</p> <p>また、授業の前半と後半で教授が変わりました。前半はとても良い教授で、分かりやすかったのですが、後半は結構分かりづらい教授で、内容そのものが面白いので何とか授業には出席するものの、正直楽しくはありませんでした。ただ、株式投資に関して、総じてこの授業を通して得た知識と知恵は実践的で、アメリカの金融に、そして個人の資産運用に、本当に興味のある人は履修をオススメします。</p>

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください（下記2以降は記入不要）

就職 進学 未定 その他：

2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。（内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません）

※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

（例：留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。）

※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

【就職活動】

留学中、就職活動の準備はしませんでした。9月のスタートです。この場合、就職活動は不利だと感じました。どう不利かと言うと、「遅れる」ということです。就活トップ層（大学3年5月、6月以前から動いている層）と比較してしまうと、不利だということです。事実として、遅れます。早ければ早いほど、有利です。サマーインターンに参加しなかったことが、自己分析、エントリーシート、業界・企業分析の遅れに繋がります。就職キャリア支援センターで、何回か相談しても「サマーインターンに参加しなかったことが、就職活動の遅れになって不利になる」と言われたことはありませんでした。むしろ「就職活動は人それぞれなので、自分で考えましょう」といったことを言われ、確かにそうだろうとは思いますが、絶対に参加した方が良いかは分かりませんが、とにかく私の意見としては、将来が不安な人はサマーインターンに参加した方が良いということです。留学前、留学中に関わらず、ガンガンと自己分析をし、エントリーシートを出し、業界・企業研究をするのが良いと思います。まだまだ私も就職活動を始めたばかりなので、もしかしたら就職キャリアセンターの言う通り、人それぞれで、これからどうとでもなるのかもしれませんが、ただ事実として、早ければ早いほど良いということです。

これを読んでいる皆さんもそうだと思いますが、私は「留学か。就活か」を選ばなければいけません。留学を選べば「就活に集中しておけばよかったな」となり、就活を選べば「留学に集中しておけばよかったな」となっていたと思うので、八方塞がりでした。「留学中は就職活動をしたくない」という私情があったので英語に集中しようと思って一切の就職活動をしませんでした。初めから就職活動がどういうものかをもっときちんと理解しておけば、両立ができていたのかなと思います。なので、これから留学する皆さんは両方を選ぶという選択肢を取ってみたいかがでしょうか。

【注意点】

就職キャリアセンターに相談しても、何も解決しません。彼らにとって私たちは、しょせん、他人なので、たいしたことは言ってくれません。結局、頼れるのは自分だけです。自分の人生の主導権を自分で握るためには、他者に頼る、相談するのではなく、自分の信念を持って、自分で考えて、自分で決断するしかないと思います。留学を目指す過程で、本当に苦労した学生は、そういう力がつくのではないのでしょうか。人によって事情は色々あるとは思いますが、正しい道を選ぶのではなく、選んだ道を正解にする人生を送りたいですね。

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス（準備、試験対策等）をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

留学開始年の前年	1月～3月	HSKの勉強開始、普通自動車免許の取得、TOEIC 365点、新型コロナウイルスの流行
	4月～7月	明治大学情報局の運営、早稲田アカデミーのアルバイト、HSK 5級
	8月～9月	休学、明治大学を通して北京大学1年間の交換留学に応募
	10月～12月	読書にハマる、金融にハマる、トビタテ！留学JAPAN 14期に応募
留学開始年	1月～3月	オンライン英会話、6ヶ月のオンライン語学留学（復旦大学）
	4月～7月	HSK 6級、トビタテ！留学JAPAN 14期に合格、ワクチン接種
	8月～9月	ワクチン接種、トビタテ！留学JAPAN 14期を辞退、TOEICの勉強開始
	10月～12月	TOEIC 920点、トップユニバーシティ留学に応募・合格、1ヵ月ロサンゼルスへ
留学/帰国年	1月～3月	簿記の勉強開始、簿記3級、授業料納付、滞在先の確保
	4月～7月	ビザ申請・取得、簿記2級、航空券購入、ワクチン接種、陰性証明・ワクチン接種証明書の取得、留学開始
	8月～9月	留学終了、2週間シカゴ・ニューヨークへ
	10月～12月	ウィンターインターン



留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

【この留学先を選んだ理由】

カリフォルニア大学バークレー校を選択した理由は3つで、「英語」「アメリカ」「留学への執念」です。

①英語

英語を話せるようになりたかったからです。この世には、日本語を話せるだけでは得られない娯楽、知識、人脈、経験、チャンスが溢れています。

実は、私は「大学に行ったからには外国語くらい話せるようになっておかないとな」というぐらいの感覚で、最初は中国語の学習だけを始めました。大学入学当初、英語に苦手意識を持っていて、英語を勉強する気はさらさらありませんでしたが、コロナをきっかけに、言いようもない危機意識から英語を勉強し始めました。親戚や友人に英語を話せる人はおらず、本当に全く話せないという状態から「英語、中国語を自信を持って話せる」「単に日常会話レベルではなく、ネイティブとして、完全に流暢に会話できる」というレベルまで努力し、ある程度のレベルまで達することができました。これが自信に繋がり、英語だけでなく、何に取り組むにしても自信を持って堂々と力を発揮できていると感じています。英語を話せる、というのは、決して誰でもできることではなく、自分のアイデンティティの1つとなり得ます。

大学生活の中で、英語を頑張ったことを後悔したことは一瞬もありません。中国の北京大学への交換留学が中止となり、コロナをきっかけに中国語学習と並行して始めていたオンライン英会話の影響もあって、私がアメリカへの留学を志すというのは、いたって自然なことでした。

②アメリカ

カリフォルニア大学バークレー校がアメリカにあるということも、重要でした。私の遠い親戚がカリフォルニア大学バークレー校を卒業していたので、アメリカを身近に感じ、アメリカに留学したい、それも、留学するならレベルの高い、知名度の高い所に行きたいと思って、志望校を決定しました。バークレー校は金融の授業が最も充実している大学の1つであるということも大きな魅力です。

また、「留学の王道は、アメリカで英語を学ぶことである」という先入観も、志望校を決める1つの決定打になりました。

③留学への執念

トビタテ！留学JAPANなど、留学の成果を最大化するために努力を重ねましたが、コロナによって留学が叶わなくなるなど、留学に関して多くの挫折を経験した結果、留学そのものへの執念が強くなりました。とにかく、留学に行きたいという思いが強くなり、本当は1年行きたかったのですが、休学したことや、就職活動のこともあり、サマープログラムへの応募を決めました。

【留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイス】

この報告書を読んでいるということは、あなたはきっと「留学をするという、決断」をするかどうかを悩んでいると思います。もし悩んでいるのなら、絶対にすべきです。おそらく「留学か。就活か」を天秤にかけて、悩んでいるかと思います。私としては、留学一択です。

ここからは私の意見というかアドバイスを述べさせていただきますが、私は、「人生は思い出の量で決まる」と思っています。経験の総和が、人生の充実度を決めるのであって、年収とか、資産の額とか、見た目とかは、全然どうでもいいです。人生で一番大事なものは「思い出づくり」であって、留学はその「思い出づくり」に最大限に貢献してくれます。当然、就職や、人間関係、家族はこの「思い出づくり」に大きな影響をもたらすので、個人個人がしっかりと考え抜く必要があると思います。なので、人生の岐路に立った時、死の淵でさまよっている時、「大学生のあの時、就活をしないで留学しとけばよかったなあ」と後悔することが、最大のリスクです。「ああしとけばよかったなあ」と後悔しながら老いてしまうのは、あなたの人生にとってプラスではないことは明らかではないでしょうか。

あまり理屈っぽいことは言いたくないのですが、アメリカの研究で明らかになったデータを参考にすると、人生で最も後悔するのは「他人の期待に従うのではなく、自分自身に忠実に生きる勇気を持てば良かった」だそうです。結局、「自分は人生で何をやっておきたいのか」「どんな価値観を持っているのか」が非常に重要で、あなたの「自分で考える力」が何よりも大切だということです。折角、明治大学には留学の制度・支援・給付型奨学金が充実していてラッキーなので、そのチャンスを生かして留学で色んなことに挑戦してはいかがでしょうか。応援しています。